

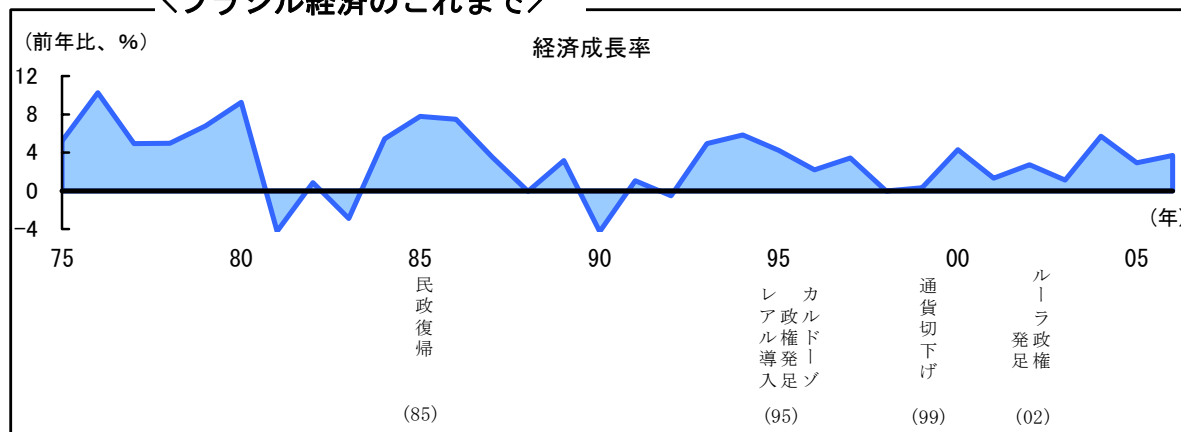
20 ブラジル

Federative Republic of Brazil

<2006年>

人口	1億8,677万人 (日本の約1.4倍)	財政会計年度 為替制度	1月～12月 変動相場制
一人当たりGDP	5,715ドル	通貨	レアル
産業構造(GDP構成比)	1次産業 10.0% 2次産業 40.0% 3次産業 50.0%	面積	851.2万km ² (日本の約22.5倍) 1米ドル=2.18レアル

<ブラジル経済のこれまで>



ブラジルの主要経済指標

(備考) 1. ブラジル中央銀行、ブラジル地理院、ブラジル企画・予算・運営省、IMF "International Financial Statistics"。
見通しの政府は2008年予算案(2007年8月)、OECDは"Development Individual OECD Countries and Selected Non-Member Economies"(2007年11月)、IMFは"World Economic Outlook"(2007年10月)による。
2. 失業率は、2002年から対象が15歳以上から10歳以上に変更となっているため、それ以前と接続しない。

<2007～2008年の経済>

2007年前半の経済成長率は、05年9月以降の政策金利引下げの効果等によって、民間消費や設備投資の高い伸びが続いていることなどから、1～3月期は前年同期比4.4%増、4～6月期は同5.4%増と高い成長となった。07年後半も所得環境の改善や利下げ効果等に伴い、内需主導の堅調な成長が続くことから、07年全体の成長率は4%台後半程度と見込まれる。また、内政面では、06年10月に決選投票に持ち込まれた大統領選の結果を受けて、07年1月に第二次ルーラ政権が発足した。

2008年の経済成長率は、レアル高の影響による輸出の伸びの鈍化や、好調な内需に伴う輸入の伸びの拡大により外需の寄与の減少が懸念されるものの、消費、設備投資等の内需が引き続き景気を牽引し、4～5%程度の成長となることが見込まれる(政府見通し5.0%、IMF見通し4.0%、民間機関23社の平均4.4%)。